

第44号(H30.8月)

小中一貫教育推進グループだより

平成 30 年8月8日

目 次

- 1 小中一貫教育講演会 P1
- 2 8・9月の主な予定(小中一貫関連) P1
- 3 各グループ研修会・研究会の紹介 P2
- 4 小中一貫教育グループ
「共通実践事項」に大切なこと P2

2 8・9月の主な予定 (小中一貫教育関連)

8月

21日(火)

全体研修会【石嶺中G】

22日(水)

授業参観【神原中G】神原中

小・小合同学年会【神原中G】神原小

授業参観【首里中G】首里中

9月

4日(火)

特別支援交流会【城北中G】

授業参観【石嶺中G】小学校

5日(水)

合同授業研究会【古蔵中G】城岳小

11日(火)

合同授業研究会【首里中G】城南小

合同授業研究会【城北中G】城北小

12日(水)

小小授業研究会【金城中G】小祿小

19日(水)

合同授業研究会【鏡原中G】垣花小

21日(金)

小小授業研究会【金城中G】さつき小

26日(水)

合同研修会【真和志中G】

27日(木)

第6回小中一貫教育コーディネーター研修会

合同研修会【那覇中G】

合同授業研究会【上山中G】上山小

28日(金)

合同授業研究会【神原中G】神原小

1 小中一貫教育講演会(H30.5.11)

関西学院大学 学長特命・高大接続センター副長・教授

佐藤 真 先生

演題「資質能力の育成を目指す

小中一貫教育の合同研修会のあり方」



1. 講話の内容

<小中一貫における 効果のある指導方法 >

- 1 授業等で学級やグループで話し合う活動
- 2 言語活動に重点を置いた指導計画の作成
- 3 総合的な学習の時間における探究活動を積極的に行っている
- 4 授業の冒頭で目標を子供に示す活動
授業の最後に学習したことを振り返る活動

<主体的・対話的で深い学び >(小中合同研修会の視点)

これまでの「言語活動を通じた授業改善」→ 確実な「見える化」へ

- ・一斉の学習形態だけではなく、思考ツールを使って話し合う
- ☆ツール…シンキング・シート、ホワイト・ボード、付箋紙、カード、ポスター、ネームプレート、等
- ★スキル…比較、分類、類型、序列化、類推、想定、関連づけ、因果関係、等

思考の可視化 ・ 操作化 ・ 構造化

<「社会に開かれた教育課程」のための 加付カリキュラム>

- ・教材・教具、教授組織、学習環境の整備
- ①教材・教具の開発・整備
- ②教授組織の整備(小中一貫教育)
- ③学習環境や情報環境の整備

<経済協力開発機構(OECD)のいうキー・コンピテンシー>

- 技能や態度を含む様々な心理的・社会的なリソースを活用し、特定の文脈の中で複雑な課題に対応することのできる力のこと。
- ①社会・文化的、技術的ツールを相互作用的に活用する力
 - ②多様な社会グループにおける人間関係形成能力
 - ③自立的に行動する能力

2. アンケートより

満足度…85%

- ・特に印象に残ったのが、教授組織の整備です。今年度は「授業を見合う」というスタイルだが、「授業を一緒に作る」という視点で小中連携を進めてみたいと思った。
- ・今後、小中高から社会人になるまでのスパンで、子どもたちに求められる力というものを統一・共有していく必要があると思いました。
- ・子どもの学力・人間性を高めるため、思考ツール・スキルを効果的に授業の中で取り入れ、どの子も楽しく学べるような環境をつくっていききたい。
- ・各機関や学校での、組織の一体化を大切にしていきたいと思った。

3 各グループ研修会・研究会の紹介

小中合同 指導案の作成【松城中 G】



中学校で行われる予定の小中合同研究授業の指導案を、小中の先生方が一緒に作成し、互いの指導の工夫や系統を押さえた指導の工夫を取り入れました。

LGBT に関する講演会【仲井真中 G】



又吉弥篤さんを講師に迎え、「自分らしく生きる大切さ」～性同一障害から学んだこと～のテーマで行われました。本音の語りから LGBT に対する小中での共通理解を図りました。

共通テーマ「学級活動について」【首里中 G】



首里中 G に所属する先生方や教育課程研究員の先生が講師となって、理論から実践まで幅広く紹介。小学校・中学校の取組を理解し、指導法(学び方)のつなぎを行いました。秋の授業研究会で実践も行います。

小中「学びのつなぎシート」作成【城北中 G】

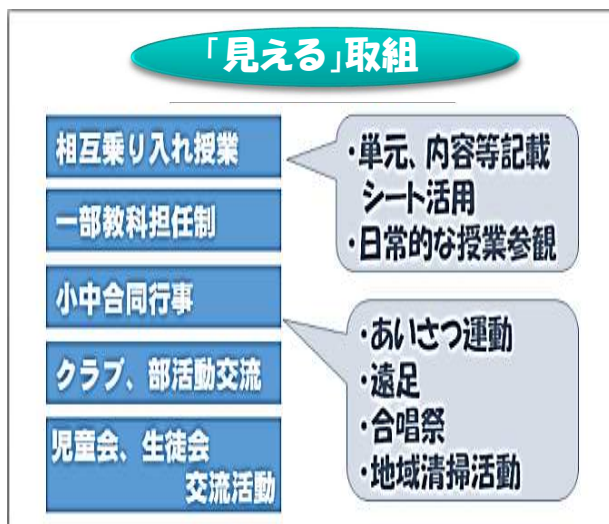


小中全学年の教科書を持ち寄って、「小中一貫教育 学びのつなぎシート」を作成しました。系統を押さえると同時に、昨年度のものに見直しを図り、継続的・効果的な取組となっています。

4 小中一貫教育「共通実践事項」に大切なこと

各グループのよさや課題を分析の上、グループ全体で共有し、共通実践事項につなげていただきたいと思います。

このような取組を意識していきましょう



次号は・・・小6・中1アンケートの結果と分析です。

